

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 :チューブクリーン  
会社名 :全国農業協同組合連合会  
担当部署 :肥料農薬部  
住所 :〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル 33F  
電話番号 :03-6271-8285  
Fax 番号 :03-5218-2536  
E-mail :zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先番号:03-6271-8285

使用上の制限:肥料

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

健康に対する有害性  
急性毒性(経口) 区分 4  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2B  
呼吸器感作性 区分 1  
皮膚感作性 区分 1  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性)  
環境に対する有害性  
水生環境急性有害性 区分 3

\*上記で記載がない危険有害性は、分類対象外が分類できない。

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	飲み込むと有害	H302
	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	H317
	眼刺激	H320
	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ	H334
	呼吸器への刺激のおそれ	H335
	水生生物に有害	H402

## 注意書き

### 【安全対策】

- 粉じん／ヒュームの吸入を避けること。(P261)
- 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- 環境への放出を避けること。(P273)
- 保護手袋を着用すること。(P280)
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。(P284)

### 【応急処置】

- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P301+P312)
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
- 吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
- 特別処置が必要である。(この SDS の補足の応急処置指示『4. 応急措置』参照) (P321)
- 口をすすぐこと。(P330)
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。(P333+P313)
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
- 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。(P342+P311)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)

### 【保管】

- 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。(P403+P233)
- 施錠して保管すること。(P405)

### 【廃棄】

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。(P501)

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名(又は一般名) : 点滴チューブのスケール、スライム洗浄剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
有機酸、界面活性剤等	-	-	-	-

\* 各法令通知対象に該当する成分情報については『15. 適用法令』参照

## 4. 応急措置

### 吸入した場合

- 直ちに空気の清浄な場所へ移動させる。
- 呼吸が困難な場合には酸素を与え、医師の診断を受ける。

### 皮膚に付着した場合

- 速やかに衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹼を用いて十分に洗浄する。
- 刺激等の異常が認められる場合には、医師の診断を受ける。
- 汚れた衣類は再使用前に洗濯しておく。

### 眼に入った場合

- 速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。
- 洗浄は瞼を指で開いてすみずみまで十分に行う。
- 刺激等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受ける。

### 飲み込んだ場合

- 口をゆすがせ、コップに 1～2 杯の水または牛乳を飲ませる。
- 無理に吐かせてはならない。
- 必要があれば医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の状況に応じた適切な消火剤を使用する。

### 火災時の特定危険有害性

本品の燃焼時には一酸化炭素、硫酸ミスト等の有害なガスが発生するおそれがある。

加熱により分解すると、酸素ガスを発生し助燃作用を起こす。

### 特定の消火方法

周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。

移動不可能の場合には、容器に注水して冷却する。

### 消火を行う者の保護

火災の状況に応じた保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、風上で作業する。

粉じんの吸入、眼や皮膚との接触は避ける。

屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

### 環境に対する注意事項

河川等に排出されないように注意する。

### 除去方法

少量の場合には濡れ雑巾等で拭き取る。拭き取り後の雑巾等は、水でよく洗浄する。

大量に漏洩した場合は、粉じんがたたない方法で可能な限り回収する。

残渣は重曹等で中和した後、大量の水で洗い流す。

漏洩物に重金属や還元剤等が混入すると分解の危険があるので、水に溶かしたうえ、廃棄上の注意に従って処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。

粉じんの吸入、皮膚や眼への接触は避ける。

作業は粉じんを発生させないように注意する。著しく粉じんを発生させる取扱所では、防爆型の電気設備を用いることが望ましい。

本品の用途以外に使用しない。

作業後には手や顔を十分に洗浄する。

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

作業着は再使用の前に洗濯する。

### 保管

直射日光を避け、乾燥した場所で密封して保管する。

火源の近くに保管しない。

保管場所付近には、重金属類、還元剤等、分解を促進させる物質は置かない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

作業環境が汚染されないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、あるいは全体換気を適切に行う。

### 管理濃度

管理濃度(作業環境評価基準労働省告示第120号)は設定されていない。

### 許容濃度

日本産業衛生学会及びACGIHは許容濃度を設定していない。

### 保護具

呼吸器用の保護具 : 防塵マスクまたは使い捨て式防塵マスク

手の保護具 : ゴム手袋

眼の保護具 : 安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状	結晶
色	白色
臭い	無臭
pH	2.30(100倍希釈)、2.65(500倍希釈)

### 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	データなし
融点/凝固点	データなし
分解温度	データなし
引火点	データなし
発火点	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重/密度	1.13(嵩比重)
水に対する溶解性	易溶(40%(w/w), 20°C)
オクタノール/水分配係数 (log Pow)	データなし
その他のデータ	
爆発特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

正常な状態で保管している場合には安定。

### 反応性

酸化剤、還元剤及び塩基と反応する。水溶液は酸性であり、また強力な酸化性を有する。銅、鉄、ニッケル合金等と接触すると急激に分解して酸素ガス及び硫酸ミストを発生する。

### 避けるべき条件

熱源(ヒーター等)と接触させない。

### 避けるべき材料

酸化剤、還元剤、金属粉末、強塩基、可燃性物質など

### 危険有害な分解生成物：

燃焼時には一酸化炭素、硫酸ミスト等の有害なガスが発生するおそれがある。加熱により分解(200°C; ペルオキシ二硫酸ナトリウム)すると酸素ガス及び硫酸ミストを発生する。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口 LD<sub>50</sub> : 300~2000 mg/kg(♀マウス)<sup>1)</sup>

### 皮膚腐食性・刺激性

皮膚一次刺激性試験：軽度の刺激性あり(ウサギ)<sup>1)</sup>

### 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分 2B に分類される成分をカットオフ値以上含有するため区分 2B とした。

### 呼吸器感作性

区分 1 に分類されるペルオキシ二硫酸ナトリウムをカットオフ値以上含有するため区分 1 とした。

### 皮膚感作性

区分 1 に分類される成分をカットオフ値以上含有するため区分 1 とした。

### 変異原性

復帰突然変異試験(Ames 試験)：陰性<sup>1)</sup>

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分 3(気道刺激性)に分類されるペルオキシ二硫酸ナトリウムをカットオフ値以上含有するため区分 1 とした。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

LC<sub>50</sub>(96時間)：134 mg/L(コイ)<sup>1)</sup>

LC<sub>50</sub>(48時間)：>100 mg/L(オオミジンコ)<sup>1)</sup>

EC<sub>50</sub>(48時間)：80 mg/L(オオミジンコ)<sup>1)</sup>

13. 廃棄上の注意

大量の水に溶解させ、排水処理を行う。  
知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 未評価

クラス : 未評価

輸送の特定の安全対策及び条件

積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器は乱雑に取扱わない。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9)

529 ペルオキシニ硫酸ナトリウム

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9)

529 ペルオキシニ硫酸ナトリウム(40%)

化学物質管理促進法(PRTR)

第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)

395 ペルオキシニ硫酸の水溶性塩(40%)

化審法

優先評価化学物質(法第 2 条第 5 項)を含む

16. その他の情報

参考

- 1) OATアグリオ株式会社社内試験報告書  
MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2016)

連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者  
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や  
品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本  
品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の  
一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に  
応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用される  
ようお願いします。

SDS は、下記 O A T アグリオ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお  
問い合わせください。

会社名 : O A T アグリオ株式会社  
住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階

担当部署 : 品質保証室  
電話 : 088(684)0220  
FAX : 088(686)7055  
緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251 (本社)